

—夢のようだつた



いや本当に童貞が死ぬ間際に見る  
夢なのかも知れない

重力にたわむ双丘とそれに  
逆らうようにツンと上向いた乳首…

生まれて初めて生で見る  
おっぱいに心を奪われる

うつわ：

オジさん  
眼  
こわw

ご…ごめん

いいけどさー

そんなに?

現実的な話をされたことでも  
にわかに実感がわいてくる

オジさんなら  
病気の心配もないしねー

んー…まあいつか  
ピル飲んでるし

……いや

ゴムある?

今からするんだ

この子と…

セックスを…つ



んじや

ほら…

どーぞ



周回遅れの  
恋とキャバレ





ことの発端は前日――

オジさん

ネコ餉つてるのー?

疲れた体を引かずる  
会社帰りだ

突然かけられた声が  
自分に対してだとは  
すぐには気づかなかつた

ちょ…つ

ねえ  
オジさんー？

あ

お…俺？

振り返ると



ギャルがいた

このくらいの子からみれば  
立派なオジさんなのだろう



俺はまだ三十を数えたばかりであり  
オジさん呼ばわりは不本意だつたが

オジさんって俺のことか…



さきほど自分の夕食と一緒に  
買った愛猫用のご飯である

スーパーのビニール袋から  
お徳用キャットフードの箱が  
顔をのぞかせていた

——と彼女が指さした先には



ネコ飼つてる  
んでしょ？

それ

あ…ああ

よく食べるから  
このデカいやつがよくて…

あまり味にうるさくないのは  
助かってるんだけど…

グク、

初対面なのに  
気安い話しかたをする  
彼女に気おされ

聞かれてもないことまで  
口にしてしまう

若い子と話すのは  
少し苦手だ…

えー

なら  
モチモチ系の子？

アタシ  
ふにふにしたお腹なでるの  
好きなんだよねー

はは：  
割とおデブかな

ふーん！

その子に  
会わせてよ！

……は？

オジさん家ち  
近くでしょ？

それはまあ…

たしかに  
俺のマンションまでは  
ここから五分もない

スーパーでチンした弁当が  
冷めきらない距離だ

と聞いたつもり  
だつたんだが：

そんな事で  
わざわざ家まで来るか？  
普通

なでたいからー

：けど  
なんで？

…  
ツ

X  
X

いいじゃん!  
ね



さっきまでは暗がりで  
よくわからなかつたが

ずいぶんと整つた  
顔だちをした子だつた

が

派手はで

金髪、化粧、アクセサリ、

少し日に焼けた肌…

どれも自信の  
象徴のようであり

本来なら俺のように日陰で  
生きてきた地味な人間とは  
交わらないタイプである



そんな女の子が間近から  
じつと見つめてくるのだ

断られる可能性など  
微塵みじんも考えてないような瞳で

そう口にして  
しまっていた――

居心地の悪さから  
逃れたかつた俺は  
視線をそらし

いいけど…

…まあ…



今は満腹でご満悦な  
デブ猫の腹を  
なでくりまわしていた

り  
り  
り  
り

ブロロロ

まったく物怖じせず  
俺の部屋にあがりこんだ  
彼女はそのまま  
エサやりを代行し

あははつ  
ホントによく食べたね  
うりうり♥  
食後の腹こなしですよー

名前なんてーの?  
この子

…ラル

モンスター二ヤンター…  
つてゲームがあるんだけど  
毛並みがそれに出てくる  
猫っぽいのと

あとタフさも  
似ててさ

タフ…?

あー…野良だつたのを  
拾ってきたんだよ

車に轢かれたんだろうけど  
道路でぐつたりしてて…：

…マジ？

なんとか

動物病院まで運んで  
診てもらつたらやつぱり  
骨や内臓も傷ついててさ

手術しても助かるかどうか  
わからないし治療費も  
高額になるって話で…

それでもいいですって  
お願ひして手術して  
もらつたら……

翌日からもう  
飯バクバク  
食つてんの！

身体もみるみる  
回復してさ

今じゃ死にかけてた  
なんて言われても  
信じられないくらい元気だよ

ナーゴオ♡

めし

ブロロ

めし

元気になつて  
良かつたなラルー

およしよしよし♡

あはつ  
確かにタフだねー

あはつ

それでもラルが  
こんなに人に懐いてるの  
初めて見たな

見知らぬ人はともかく  
俺にだつてそんなに  
甘えてこないだろお前：

あれか?

ブロ

こいつもオスだから  
やっぱ女の子には  
デレるってことなのか?

ブロ

— 女の子 —

そう、  
女の子なんだよな…

う  
う  
う  
う

君さ  
帰らないで  
平氣?

ほらもう  
結構遅いし



泊まつていい?

てかさー

……は？

いやー 実はアタシ  
ブチ家出中なんだよね

今日泊まるところないなーって  
困つたらスーパーから出てくる  
オジさんを見かけてさ

お弁当も持つてたし  
独り身だろーと思つて

家出…って

最初から泊めてもらう  
つもりだつたつてこと?

そ

待つて待つて  
俺みたいなオジさんと  
二人きりだよ?

その…  
怖くないの?

んー…  
ネコ飼ってるし

アタシの持論  
なんだけどー

ネコ飼つてる人に  
悪人はいないつしょ

そんな単純な…

じゃあオジさんは  
悪い人なん?

いや  
そんなことは…

ないと思う…けど



決まりー



じ  
や

決まりー、じゃない  
無茶苦茶な話だ

条例だなんだと厳しい昨今  
学生を泊めるのは色々とまずい

後から男が出てきて  
恐喝される可能性すらある

宿泊先がなかろうと  
心を鬼にして  
追いかすべきなのだ

なんなら自宅に  
帰ればいいだけである

ラルもアタシに  
いて欲しいよねー？

でしょー？

ブロロロ

ナーゴホ

……でもまあ

さつきの彼女の話じゃないが  
ラルも懷いてるし  
そう悪い子には見えないんだよな

……外見は派手めだけど

実際、  
出てつてもうにしても  
日が出てるうちのほうが  
危なくないか：

……今夜だけなら

やりい！

オジさん  
やつぱいい人!!



アタシ

カンナ！

ラル！

ヨロしくね  
オジさん！



冷凍食品を  
温めただけだし  
たいしたことじや——



あー  
さつぱりしたあ♡  
ゴメンねー  
ご飯だけじゃなく  
お風呂までゴチになつちやつて

一  
服  
つ  
つ  
て  
下

んー?

パンツ…っ

あー…  
もう寝るからさー

薄着じやないと  
寝つき悪いんだよね  
アタシ

ベッド最高♡

ネカフェで寝ると  
体バキるし

でもホント  
助かったよー

結構お金  
ピンチだったから

風呂上がりのほてった  
肌がなまめかしい

スラっとしつつも  
肉付きがよい太ももと

その交差点でチラつく薄布が  
まぶしく目のやり場に困る



寝る？

オジさんも…

……ツ

俺はあわてて  
タオルケットにくるまつた

いやらしい目で見たことを  
とがめられたような気がして

じやあ俺は  
ソフアこつちで寝るから…っ

明日も会社  
だし…



あ…ああ  
そうだね！

アリ

おやすみ…っ

え…?  
ちよ…っ

は?

あー…

うん！

おやすみ

部屋に他人がいて

身体を横たえるのは  
ベッドじゃなくソファ

非日常に興奮気味なのか  
なかなか寝つけない

俺のすぐ横でギャルが  
寝てるんだもんな：

信じられん……

彼女もしばらくは  
起きてる気配がしていたが

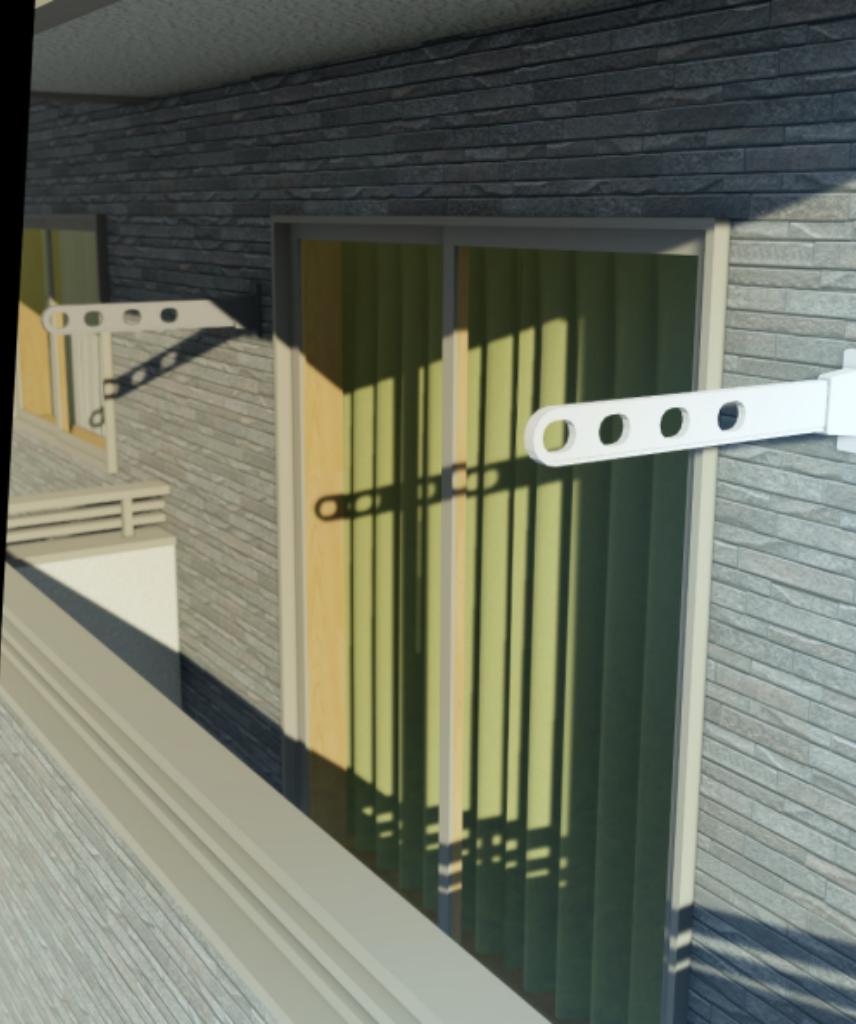
そのうち規則正しい  
寝息が聞こえてきた

その寝息に  
誘われるようにな

俺も眠りへと  
落ちていくのであった――

昨日はギャルが  
おしかけてきて…  
：あー  
そうだった…

ん  
ソなん  
で俺  
ファで



つて…

やべ！  
会社！！

昨夜はバタバタしていたせいか  
目覚ましをセットするのを  
忘れていたようだ

すぐにでも家を出ないと  
まずい時刻である

あわててスースに着替えながら  
ベッドへ向かって声をかける

あのー！  
俺もう会社行くから

起きたら適当に  
帰つてくれよ？

鍵は外の宅配ボックスに  
入れといてくれれば  
いいから

あとこれ飯代か  
電車賃にでもして



テーブルに部屋の鍵と  
紙幣数枚を置くも反応がない

おーい

聞いてるー?

ん~~~~~

わかつた!

わかつたってー!..

VIA VIA

気持ちよさそうに  
寝てるなあ…



かわいい…  
寝顔も

おつと  
見とれてる場合じゃない

終業時間はガバガバなのに  
始業時間だけ厳密なのが日本企業

タタタタタタ

遅刻は厳禁……！

ガチャ

気合を入れなおした俺は  
駅へ向かって走りだした

タタタタタタ

その日の夜



お弁当と冷凍食品づけの  
寂しい独り身のために  
ご飯作つてあげようかなー！：つて



泊めてもらつた  
お礼してなかつたし

だからあ

一晩だけつて  
話だつたよね？

なんで  
まだいるの…

で



ウチには食材なんて  
なかつたでしょ

どうしたの？

お金置いてつて  
くれたじやん

それ使つておいて  
言うのもなんだけど  
一宿一飯の恩返し…つてやつ？



そうだ学校…

学校はどうしてんの？

フツーに  
通つてるし

こつからそう遠くないし  
今日もちゃんと行つた

学校行つて  
成績さえ落とさなければ  
親もうるさくないからねー



ま 家のことは  
いいじやん

冷めないうちに  
食べて食べて

料理の腕前といい  
放任主義の気はあるにせよ  
結構いいとこの家なのかもしれない



ふーん…



よかつたー！

マジ？

ウまい…

…！

彼女の料理は  
美味しかった

家庭的で温かみのある  
手料理を食べたのは  
いつぶりだろうか

ハフ  
ハフ

そこまで手が  
こんでるわけではない  
普通のメニューなのに

夢中になつて  
口へ運んでしまう

優しさが身体に  
染みわたつていくようだ

ふつふつふー♡

家事は得意なんだよね  
……意外と

意外と…って  
自分で言っちゃうんだw

あははは

そようそ  
イガイトーw

俺の人生には  
全く無かつたからな…

女の子に手料理を  
作つてもらうことも  
たわいもない話を  
することも

なんだか  
ひじょーに楽しいぞ

なし崩し的にもう一晩  
泊めることになつたけれど

まあそれくらいは  
構わないか

——食べ終わるころには  
そんな気持ちになつていた

いいお湯だつたー♡

は



え？

昨日のうちにお礼  
できてたら出て行く  
つもりだつたんだよ？

……ホントにさー



それは……

……つて

押しかけておいて  
言うのもなんだけど  
迷惑なんだろうなー

オジさんあんま  
こっち見て話して  
くれないし

……けどオジさん

手…出さなかつた  
じやん?

だからせめて  
ご飯くらいは…さ

見知らぬ女の子を泊めるなら  
普通はそういう期待を  
抱くのだろう

俺にとつてはまるで  
現実的ではない話だが…

いや…迷惑な  
わけじやないよ

ただ俺…  
女性が苦手で…

そばにいるだけで  
緊張しちゃうからさ

情けない話

手を出すなんて  
とてもじやないけど…ね

えーと…

男のほうが好き…  
とかそういうのじや  
ないんだよね？

ひ

違う違うつ  
フツーに女の子が  
好きなんだけど

その…どうしていいか  
わからないだけで…

なーんだ  
安心した

アタシがタイプじゃないとか  
可愛くないってなんなら  
ちょいへこんでたよー

あははー

そんなわけ  
ないつて…つ

カンナ…ちゃんは  
めちゃくちゃ可愛いし

正直に言えばそういう  
目で見てしまつた  
というか…つ

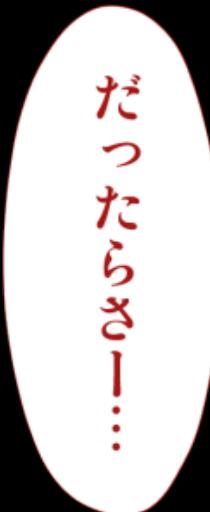
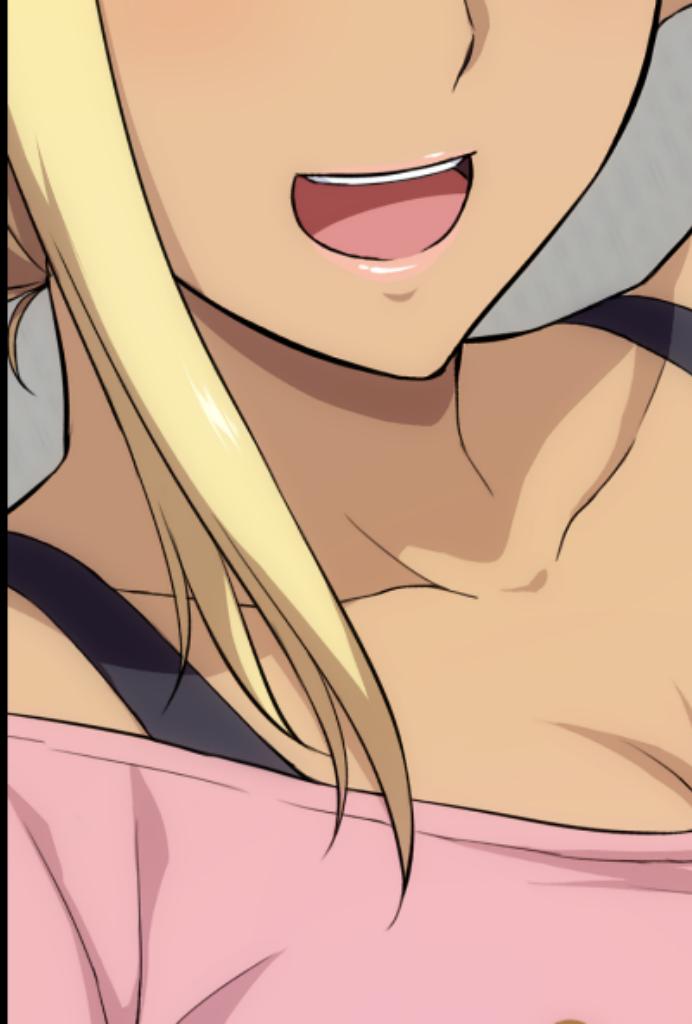
あ～つ  
焦つてなに言つてんだ  
俺は…!!

ふーん…

もちろんほんの  
少しだけ…です…

けど…

あ…!



だつたらさー…



ね  
どう？

背中向かってれば  
顔見えないし  
緊張しなくない？

いやめちゃくちゃ  
テンパつてますけど——!?



確かに顔は見えない…

が、背中からじんわりと  
伝わってくる体温によって  
彼女の存在を意識せざるをえない

わ

ちょっと身体  
震えてんじやん

……はい  
いい

……一応聞くけど  
オジさんって童貞？



そうは見えない  
けどなー

小さつぱりしてて  
清潔感あるし

……俺 中高と  
男子校だつたんだけど

大学入つたら皆が  
あたりまえのように  
異性とつきあつてて：

それまでの自分とは  
かけ離れた文化に  
驚いてさ



え 男子校って  
そういうものなん?

他の学校の子と  
つきあつたりとか：

普段から接してないと  
女の子が遠い存在に  
なるんだよね

どうやつて仲良くなつたら  
いいかわからない外国人？

…みたいな

へー！

もちろん俺にも  
気になる子がてきて  
頑張ったんだけど

女の子にアプローチした  
経験なんてなかつたから  
勝手がわからなくてさ

空回りばかりで  
自信を失ちやつて…

そのまま何も経験を  
積めずに歳だけ重ねて

三十路童貞の  
出来あがりつてわけ

はは：

夜は人の心の扉を軽くする

—と言つたのは  
誰だったか

気がつけば  
倍も歳が離れた女の子に  
自らのコンプレックスを  
打ち明けていた

気持ち悪いでしょ  
そんな男

んー：  
つか女はあんま  
気にしないと思うよ

そういうの

少なくともアタシは  
どうでもいいかなー

むしろー

ちょつと  
カワイイじゃん♥

!!

首筋に柔らかな髪が触れ  
背中に温かい何かが押しあてられ

身体にやさしく  
腕を回される

それらの感触だけで  
情けないことに  
硬直してしまっていた



どれくらいの時間が  
過ぎただろうか

しばらくそのまま  
まんじりともせずにいると

ようやく身体から力が抜け  
気持ちも落ち着いてきた

と入れちがいに――



マジ？

たたくつについてた  
だけなのに  
こんなにしちやつてえ

や…

だつて女の子と  
こんなに密着したの  
初めてだし：つ

興奮したんだ？

…ツ

かわい～っ

ぐるぐる

彼女の手が股間を  
なでまわすのにともなつて  
電撃めいた快感が背筋をのぼる

くううう…っ

何だコレ…  
軽くさすつてるだけなのに…

他人に触つてもううのが…  
こんなにも…  
気持ちいいなんて…つ



窮屈そうだし  
脱いじゃおつか♡

もうさ

!?

ボロン



奥までいける  
かなあコレ：

ちょ…  
何やつて…つ

立派じやん  
オジさんの

触った感じから  
もしやと思つたけど

ヤバつ



かほお

一瞬、ペニスだけを生暖かい湯につけられたかと思つた



しかしよく見ると  
それが伸びる先は彼女の口…

つまり――

フェラチオされていた





ふはあ♡

うん

何とかなりそー  
ギリで



ふ  
ふ  
ふ  
ふ  
ふ  
ふ

ん  
ん  
ん  
ん  
ん  
ん

ふ  
ふ

せ  
ゆ  
る

ん  
ン  
ウ  
…  
♥



おお…つ

おわつ

おつ

あつ

女の子がつ  
俺のチンコをつ

口でつ  
物を食べる口でつ

ギュホ

ギュホ

あまりの衝撃に  
まるで理解が追いつかない

そんな俺をよそに  
彼女の唇や舌やほおは  
温かくやわらかな粘膜で  
容赦なく肉棒を  
しごきたてていく



たまらずこみあげてくる  
射精感を訴えようと  
顔を向けると

あ…つ  
ちょ…これつ

もうつ  
くるつてこれ…つ

A close-up, slightly angled shot of a woman's face. She has long, wavy blonde hair and large, expressive brown eyes. She is crying, with several tears visible on her cheeks and one falling from her right eye. Her expression is one of distress or emotional intensity. A hand, partially visible at the bottom, is holding her chin, supporting it. The background is a soft, warm yellow.

彼女と目が合った



.....ツツ!!

...ツ



んふ  
んふ

ん  
ん

ふ  
ふ



アタシさー

男が感じてんの見ると  
興奮しちやうんだよね

オジさんもまだまだ  
元気…みたいな？

信じられないほどの  
快樂の後だというのに

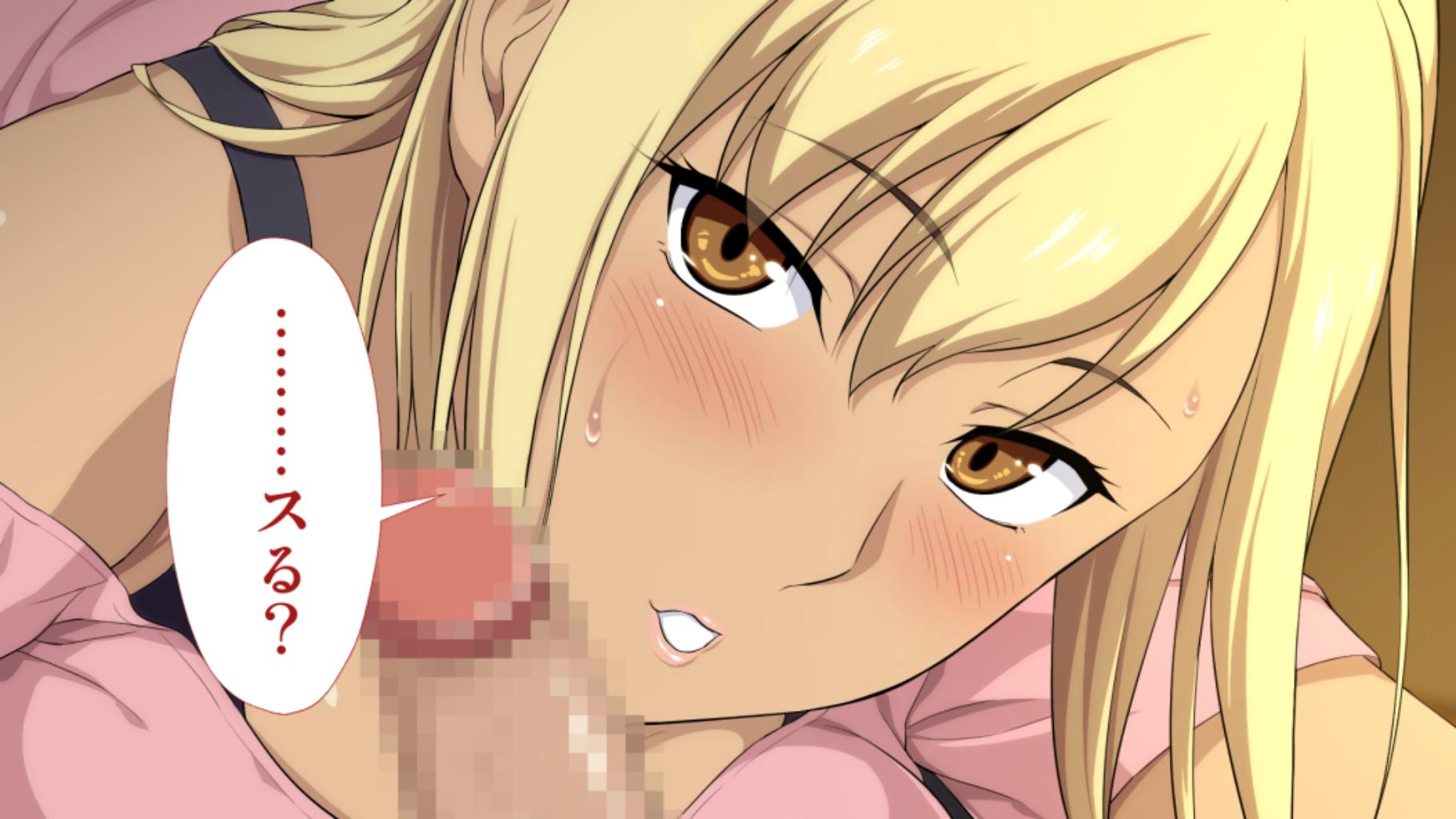
まるで十代のころのよう  
にペニスは猛り狂っている



どーしょつかあ…?

!!

ねえ…



...する?

ほら  
……

んじや



どーぞ



亀頭の先が柔らかな  
粘膜に到達した

彼女に促されままに  
腰を進めると

そうそう…

もうちょっと  
下のほう…

ピッピッピ…

既にそこはじつとりと  
濡れそぼつており

6

145

おとうやう

何度か亀頭を押しあて  
確かめると

そのまま押し込めそうな  
箇所にいきあたる

一  
そ・こ  
心



ん…っ  
♥

アヤシ



すこし抵抗のある入口を  
かき分けたと思ったら

ひと息に  
飲みこまれていたのだ



——瞬間、  
頭が真っ白になつた

ツ

ついに…ついに俺は…

ついに…つ

はああああ～…

ぬちいし

ぶる

どう？  
感想は





恐る恐る腰を  
動かしてみる

抜いて…

入れて…

h  
…  
h

ぬ  
る  
づ  
る

そんな単純な動きでも  
めちゃくちゃ気持ちよかつた

入れる

にゅあふう

抜いては…

にゅあふ

温かいぬかるみのように  
肉棒が沈んだかと思えば

ヒダが絡みつき  
搾りあげてもくる

オナホールなんかとは  
比較にならない  
生身のうごめき…つ

これが…マンコ…  
生のマンコなんだ…つ

そして何よりも――

そそ

はじめは  
ゆっくりでーー！

自分が受け入れ  
繋がってくれる  
女の子がいる

それがたまらなく  
嬉しい



今のは

ほぐれてきたら  
大丈夫だよー

はア

好きに動いても

俺ので…  
感じて…?  
どくどくどく

ぬるるる

われるまでもなく  
もう止められそうになかった



本能のおもむくまま

身体を貪りつくそつと  
身体が勝手に動く

オジさん余裕  
なさすぎじやん

そんなに  
気持ちいい?



もつと…もつと  
この感触を…

味わいたい…つ

づつとかき回して  
いたい…つ

のに…つ

んー?

ガマン…つ

バーッ

ダメ…つ

も…も…つ

いーよ  
♥



あはつ

すつごい  
出てる出てる♡

気持ちよさそー

ぜんぶ  
出しちゃえ♡

ほらほら♡

ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく

ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく

ううう  
ううう

ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく  
ぐくぐく

ぐ  
ぐ  
ぐ



童貞卒業  
おめでと♡

めっちゃ  
出たんじやん?

はあ～～～～

出でいくのか？

——これで…

…だよね

い

わつかりやすい

いや：  
それは…

んー？

出て行つてほしい？



ベッドの上が落ち着いた  
のを見計らったのか  
ラルが登ってきた



……おしつ  
決めた！

オジさんち片付いてて  
居心地いいし

しばらくお世話になつちやおうかな！

え？

ラルもいるしねー

ウナー

そつか……

ありがとね

イヤイヤ

泊めてもらうんだから  
お礼言るのは  
アタシのほうつしょ

そうなんだけど…  
嬉しいからさ

いいってことよ

ナメナ

その日はそのまま  
二人と一匹で眠った

リラックスし、  
ただ心穏やかに  
夢も見ず…

こんな深い眠りは  
いつぶりだろうか——

——その日を境に  
俺の日常は大きく変わった

ねーねー

この子が  
ラルの名づけ元?

毛並みそつくり  
だもんねー